

「交流サロン」だより
in 大仙 3月号
2026

東日本大震災から十五年、この年月の経過に対する想いは、人それぞれでしょう。しかし、あの惨状に遭遇した人にとっては、その記憶は、昨日のように蘇るのではないかと想像します。千年に一度の大災害と言われましたが、三陸地方にはそれに近い津波災害が平均すると半世紀に一度程度襲来しているという記述が残されています。そして、その時は高台に移住したりして防災の意識が高まりましたが、五十年近くも何事も起こらないと徐々に海沿いに住むようになっていく、そして同じ惨状が繰り返される、ですから、過ぎたことではなく、また来るかもしれないと言いう意識、要するに震災後ではなく、常に震災前なのです。そしてそれに備えておかなければならない、地震や津波だけではなく、異常気象に伴い雨や雪に対する備えも同じです!! 私達の記憶にないことは無かったことではなく、知らないだけかもしれない、「自命は自分で守る」そんな想いを持って綴ってみました。話は変わりますが、今年度、「交流サロン」に参加して下さった方々、また、「協力して下さった皆様方に心より御礼申し上げます。来年度も同様によりしくお願いいたします。

マイフォト「早春の光!!」

令和8年3月25日 6:50頃



夜明けが早くなり、一番列車を捉えるチャンス到来です!!空は晴れ渡り、絶好の撮影日よりと意気込んでポイントに向かいました。春霞と言うよりも花粉霞と思われる霧に包まれ、遠くから、早春の景色と「こまち」を絡め季節感を出したかったのですが、断念し、アップにしました。霞のせいで朝日のキラキラ感が弱く輝きの薄い一枚となりました。後悔のせいで朝日のキラキラ感が弱く輝きの薄い一枚となりました。後悔のせいで朝日のキラキラ感が弱く輝きの薄い一枚となりました。

マイフォト一言



秋田市の「遊学舎」で開催された、追悼の儀の様子です。皆さんの関心が薄れていくことに懸念を感じた一日となりました。

語り継ぐinあきた

4月の交流サロン
4月26日(日)
「折り紙」
今年度の大曲駅連絡通路
展示のテーマを考えてもら
いたいと思います!

時間 10時~15時
場所 はびねす大仙
参加費 三百円
小学生以下無料

今月の「交流サロン」から

今年度、最後の「交流サロン」と言うことで、今日は、お世話になった調理室の清掃作業を行いました。使っていない食器の汚れ確認と乾拭き、そして気になっていた床面の汚れの拭き取りに力を入れました。



調理室の床面の汚れ取り



本日の昼食「ラーメン・餃子」

東日本大震災による避難者を
支援する秋田県南連絡協議会
発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美
連絡先 〇九〇一九六七〇一八五二